

2007 年度

国内主要マラソン初優勝!

防府読売マラソン (山口県: 防府市)

中森一也

マラソン 2時間15分40秒 (優勝)

中森(大塚製薬)初の栄冠

防府マラソン

第38回防府読売マラソンにリードされたが2日は9日、山口県の防府市で追走。41分すぎで入陸上競技場発着コースを切り、逃げ切った。2位は入船、3位は中森(大塚製薬)が2時15分40秒で初優勝を飾った。中森は主要大会での優勝も初めて。中森は2時間15分40秒の入船、カネボウ中盤、入船満(カネボウ)2時間16分3秒、吉村(大阪)2時間17分51秒、藤原(カネボウ)2時間18分14秒、白濱(山田電力)29分27秒、安田(大塚製薬)32分27秒、石川(日華化学)34分8秒、高松(河村政伸)31分28秒、森(山口・防府西)31分35秒、宮本(山口・高水)32分19秒、女子10キロ(児玉)防府市陸協)37分10秒、山田(T.E.A.M. Fun Run)38分40秒、岩崎(下松市陸協)39分14秒

粘りの走り 見事な逆転

トップで競技場に姿を見せた中森(大塚製薬)が、力強くガッツポーズをしながらいゴールテープを切った。国内主要マラソンでの優勝は大塚製薬陸上部としても初の快挙。河野監督から「我慢して走ってよかったな」と声を掛けられ、笑顔で握手を交わした。

「たまになくうれしい。今までやってきてよかった。普段は物静かだが、この日はかなり全身喜びを表した。一度は入船満(カネボウ)に離され、「追い付けないかな」と思ったそうだが、粘り強く追いつけた。じわじわと入船との差を縮め、41分すぎでとらえる。一気に抜き去り、首位に浮上。ベテランらしい走りで見事な逆転劇を演じた。自己ベストの2時間12分8秒は、出場した国内招待選手の中で最高記録。当然、優勝候補の一人に挙げられていた。しかし、2月の別府大分は途中棄権、出場を予定していた4月の長野は調整がうまくいかず見送るなど昨年9月のベルリン以来、結果を残せていなかった。それだけに、「タイムより勝負にこだわった。今大会にかけていた」と打ち明ける。

入社10年目の28歳。次の目標はまだ決めていないそうだが、主要大会に優勝したことで、今後の競技生活に新たな展望が開けたことは確か。「これでやっとステップアップできる」。その言葉に自信がうかがえた。(中野)



見事な逆転劇で初優勝を果たし、ガッツポーズでゴールテープを切る中森一也山口県防府市陸上競技場(四国放送テレビ山口放送制作から)